

日立建機株式会社

日立建機フェスティバルにおけるカーボン・オフセットの取り組み

スタッフ、出展者、来場者には車の代わりにCO2排出量の削減に寄与できる電車の利用を呼び掛けた。また最寄り駅から工場までの移動不便を解消し電車の利用を促進するために、神立駅から工場の間でシャトルバスを臨時運行し、来場者の送迎を行なった。



取組の概要

日立建機フェスティバルは地域住民への感謝と土浦工場を広く理解してもらうことを趣旨に2004年より毎年行っている。本イベントを対象としたカーボン・オフセット活動は2010年より実施しており、今年で計4回の実績を残している。開催時期によりカーボン・オフセットの対象範囲は様々だが、参加者の移動に伴うCO2排出量、会場施設の電力使用量に伴うCO2排出量、展示製品の稼働に伴うCO2排出量、展示製品の輸送に伴うCO2排出量などを算出しカーボン・オフセットを実施してきた。

オフセットの分類	会議・イベント	認証取得(制度名)	-
取組の実施時期	2010年11月、2012年11月、2013年11月、2014年11月		
クレジット	クレジットの種類	J-クレジット	
	プロジェクトの種類	森林吸収系	
	プロジェクトの名称	バイオマスプロジェクト	
	プロジェクト実施地	四国	
オフセット量	24tCO ₂		
無効化日	その都度		
販売数、参加者数等	参加者数 平均約5000人/年		
価格、参加費、クレジット費用の負担	参加費：無料 日立建機がクレジット費用を負担		
オフセット・プロバイダー	日立キャピタル(株)		
オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法	GHG排出量の削減努力		
参加者の移動に伴うCO2排出量はサンプル的なアンケート調査を実施し、電車移動はNAVITIME、車移動は燃費と移動距離をベースに算出。会場施設の電力使用量に伴うCO2排出量は当社独自のモニタリングシステムの電力量測定データに基づき算出。展示製品の稼働に伴うCO2排出量はインターネットを活用した機械管理システムGlobal e-Serviceを用い、モニタリングデータを採用した。	スタッフ、出展者、来場者には車の代わりにCO2排出量の削減に寄与できる電車の利用を呼び掛けた。また最寄り駅から工場までの移動不便を解消し電車の利用を促進するために神立駅から工場の間でシャトルバスを臨時運行し、来場者の送迎を行なった。電気使用量を削減するために会場施設の照明の一部をLED化、無駄な照明は消灯した。展示製品の稼働および運搬においては省エネルートおよび運転に努めた。		
取組んだことによるメリット・良かった点	取り組む際に工夫した点・苦労した点		
お客様のバイオマスプロジェクトから創出されたクレジットを用いることでお客様の削減活動も支援できた。	算定のためのデータ取得に時間を要した。オフセットの効果やメリット等について関係者間での理解・賛同を得られるよう努めた。		

【問い合わせ先】
日立建機株式会社
担当：金 麗花

TEL：029-832-8253
Email：r.kin.nc@hitachi-kenki.com
ウェブページ：<http://www.hitachi-c-m.com/global/jp/company/csr/contribution/14111fes/index.html>